

講義名称	ソーシャルワーク論Ⅰ
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群（区分）	社子→専門展開／理作看→主題
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	3年前期
必修・選択	選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	看護学科（1）、作業療法学科（1）、理学療法学科（1）、子ども福祉学科（3）、社会福祉学科（3）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学看護学部看護学科	72210132
金城大学医療健康学部作業療法学科	52210141
金城大学医療健康学部理学療法学科	42210141
金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科	24210001
金城大学人間社会科学部社会福祉学科	14214001

担当教員

氏名	所属
◎ 岡村 綾子	大学・人間社会科学部・社会福祉学科

授業概要	ソーシャルワーク実践の基盤と、ソーシャルワーク専門職であるソーシャルワーカーの実践について講義を行う ソーシャルワーク論Ⅰでは、①ソーシャルワークの概念と範囲 ②ソーシャルワークの形成過程 ③ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲 ④社会福祉士の意義と役割 の4つの事項を取り扱う。
到達目標	医療・保健の隣接領域である社会福祉の援助技術としてのソーシャルワークの概要について理解できる。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】 オリエンテーション：ソーシャルワークの学びの全体像	
	【事前事後学修の内容】 『シラバス』にて、「ソーシャルワーク論」、「ソーシャルワーク演習」、「ソーシャルワーク実習」のシラバスに目を通しておくこと。	【事前事後学修時間（分）】 30
第2回	【授業計画】 わが国のソーシャルワーク実践の実際①：高齢者・障害者・児童・医療・地域・公的扶助 分野	
	【事前事後学修の内容】 各々の持つソーシャルワーク像及びソーシャルワーカー像を整理しておくこと。 (30)	【事前事後学修時間（分）】 30
第3回	【授業計画】 社会福祉士の法的位置づけ	
	【事前事後学修の内容】 テキストのp2～14を読んでおくこと。	【事前事後学修時間（分）】 60
第4回	【授業計画】 ソーシャルワーク実践の特徴（事例を通じて）	
	【事前事後学修の内容】 テキストのp23～35を読んでおくこと。	【事前事後学修時間（分）】 60

第5回	【授業計画】	ソーシャルワークのグローバル定義	
	【事前事後学修の内容】	テキストのp52～67を読んでおくこと。	【事前事後学修時間（分）】 60
第6回	【授業計画】	ソーシャルワークの構成要素（1） 「クライアント」と「ニーズ」	
	【事前事後学修の内容】	テキストのp68～73を読んでおくこと。	【事前事後学修時間（分）】 60
第7回	【授業計画】	ソーシャルワークの構成要素（2） 「ソーシャルワーカー」と「社会資源」	
	【事前事後学修の内容】	テキストのp73～83を読んでおくこと。	【事前事後学修時間（分）】 60
第8回	【授業計画】	ソーシャルワークの原理（1） 「社会正義」と「人権尊重」	
	【事前事後学修の内容】	テキストのp86～94を読んでおくこと。	【事前事後学修時間（分）】 60
第9回	【授業計画】	ソーシャルワークの原理（2） 「集団的責任」と「多様性の尊重」	
	【事前事後学修の内容】	テキストのp94～102を読んでおくこと。	【事前事後学修時間（分）】 60
第10回	【授業計画】	ソーシャルワークの理念（1） 「当事者主権」と「尊厳の保持」	
	【事前事後学修の内容】	テキストのp103～108を読んでおくこと。	【事前事後学修時間（分）】 60
第11回	【授業計画】	ソーシャルワークの理念（2） 「権利擁護」とその実践事例 ～オンブズパーソン～	
	【事前事後学修の内容】	テキストのp108～109を読んでおくこと。	【事前事後学修時間（分）】 60
第12回	【授業計画】	ソーシャルワークの理念（3） 「自立支援」	
	【事前事後学修の内容】	テキストのp109～111を読んでおくこと	【事前事後学修時間（分）】 60
第13回	【授業計画】	ソーシャルワークの理念（4） 「エンパワメント」と「ノーマライゼーション」	
	【事前事後学修の内容】	テキストのp111～116を読んでおくこと。	【事前事後学修時間（分）】 60
第14回	【授業計画】	ソーシャルワークの理念（5） 「ソーシャルインクルージョン」	
	【事前事後学修の内容】	テキストのp116～118を読んでおくこと。	【事前事後学修時間（分）】 60
第15回	【授業計画】	まとめ	
	【事前事後学修の内容】	第1回から第14回までの授業内容について、ノート・資料等を見直しておくこと。	【事前事後学修時間（分）】 120

履修に必要な予備知識

現代社会が抱える問題状況について、新聞やテレビ等から幅広く情報を収集しておくこと。また授業で理解したことを文章で端的に表現出来ること。

や技能	る力を身につけておくことが望ましい。
課題に対してのフィードバック	毎回提出のコメントカードの記載内容について、次回授業のはじめの時間を使って講評を行う
評価方法・基準	定期試験、及び毎回提出のコメントカードの記載内容を点数化して評価する。 (定期試験70% コメントカード記載内容30%)
教科書	『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座11 ソーシャルワークの基盤と専門職 [共通・社会専門]』中央法規出版 ・毎回の授業は教科書の記述の解説を中心に進める。
実務経験の内容・期間	なし